

# さかいまち 議会だより

No. 163

平成25年9月1日発行

編集発行・茨城県境町議会  
広報編集委員会

〒306-0495 境町391-1  
TEL. 0280-81-1316  
FAX. 0280-87-5873

ホームページアドレス  
<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>

## 正副議長就任の あいさつ

境町議会議長 関 稔



この度、任期満了に伴う町議会議員選挙後の7月5日の臨時議会におきまして議員各位のご推挙によりまして、議長の要職に就くことになりましたことは、誠に身に余る光栄でありまして、衷心より深く感謝お礼申し上げます。

さて、本町においてはこれまで町の将来像として、水と緑とふれあいの町を基本とした第4次境町総合計画が過去10年間に渡り歩み続けて参りました。そして本年度より今後10年間の境町の将来像として、第5次境町総合計画が一步ずつ歩み始め、活気あふれ魅力ある町づくりに、議会一丸となって全力で傾注し、厳しい社会経済情勢にあっても目標に向かって一步一歩成果を上げ愛着が持てる境町を目指したいと存じる次第であります。

昨今の課題としましては、圏央道の全線開通が平成27年度に予定されており、しかも平成26年度までには埼玉県側より境インターチェンジ（仮称）までは開通が予定されております。これらに伴う当町の土地開発等を町一体となり進めなければなりません。

また、日野自動車の古河市への進

出計画につきましては、4年前倒しがなされ、これらに対する地域対応にも早急に答えを出し、地域環境整備を進め、境町のさらなる発展のため誠心誠意努力していく所存であります。

議員各位、町関係者の皆さん、そして町民の皆様のご協力、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

境町議会副議長 須藤 信吉



6月に執行されました町議会議員選挙後の臨時議会において、副議長に就任いたしました。

境町でも、行財政改革をより一層推し進め、加速する少子化に対応する次世代育成支援対策、真の高齢化対策、新しい産業の育成と町の再開発など町民の生活の安全と安心を確保していくことに努めなければなりません。

圏央道が平成27年度全線開通（境インターチェンジ（仮称）平成26年度開通）、日野自動車本社工場移設計画も4年前倒しで平成28年度と発表され、当議会においても、境インターチェンジ（仮称）周辺開発調査特別委員会を設置し、町活性化に向けて地域環境整備を進め、誇りと希望のもてる町づくりができますよう一致協力して努め、議長を補佐し、今までの開かれた議会運営を継続するため努力していく所存です。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 新議員の紹介



1番 青木 輝明  
産業建設副委員長  
広報編集委員



2番 青木 徹  
教育民生副委員長  
広報編集副委員長



3番 櫻井 実  
総務副委員長  
議会運営委員  
広報編集委員



4番 濱野 健司  
産業建設委員  
広報編集委員長



5番 飯田 進  
産業建設委員長  
議会運営委員  
広報編集委員



6番 渡邊 昇  
教育民生委員長  
議会運営委員



7番 倉持 功  
総務委員  
議会運営委員長



9番 橋本 正裕  
教育民生委員



10番 田山 文雄  
総務委員長  
議会運営副委員長



12番 内海 和子  
総務委員

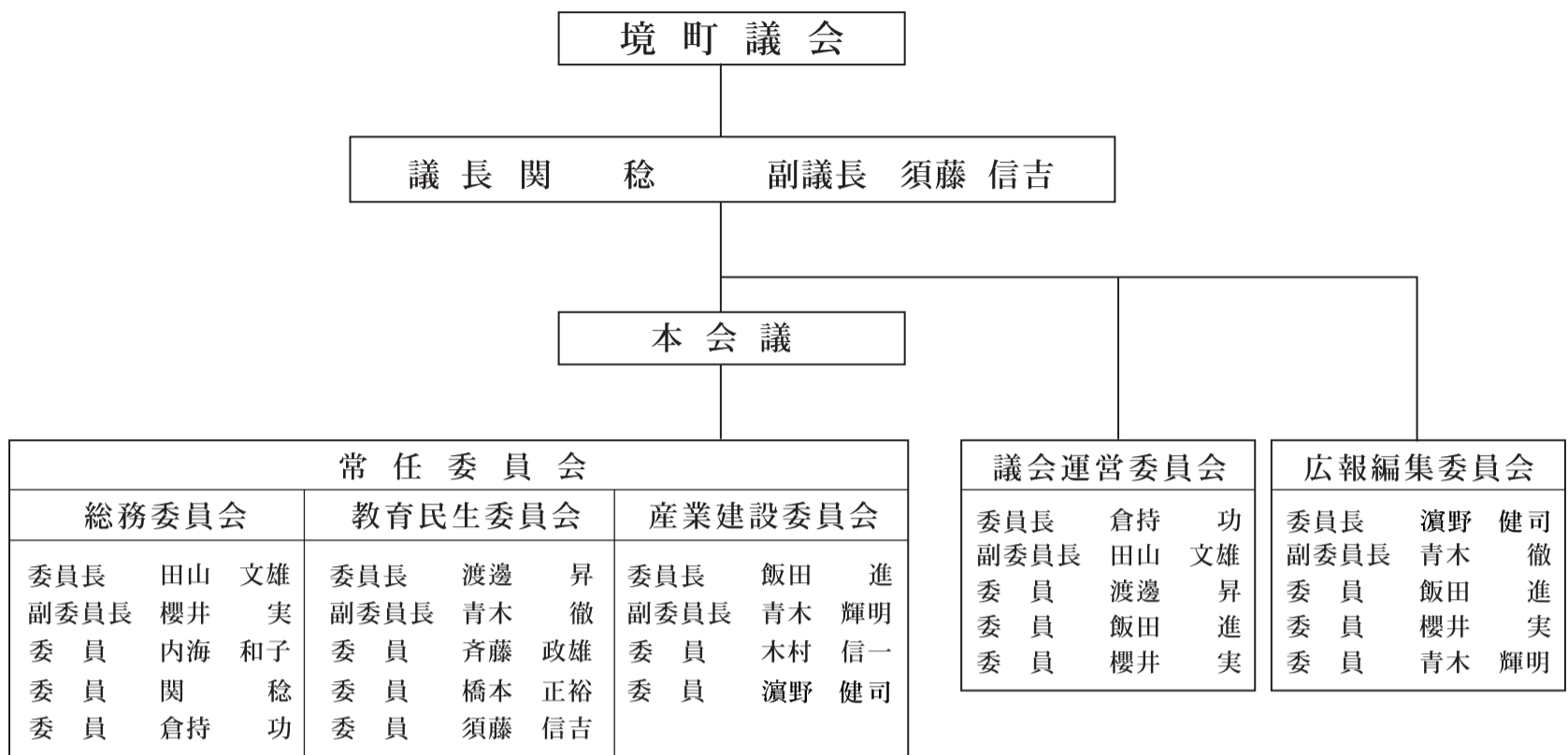


13番 木村 信一  
産業建設委員  
境町監査委員



14番 斉藤 政雄  
教育民生委員

## 新しい議会の構成



## 議会から選出された組合議会議員等は、次のとおりです。

さしま環境管理事務組合議会議員 3名	木村信一, 関 稔, 橋本正裕
茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会議員 2名	齊藤政雄, 関 稔
茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員 1名	関 稔
境町水道審議会委員 5名	齊藤政雄, 内海和子, 田山文雄, 須藤信吉, 渡邊 昇
(助)境町開発公社	理 事 3名 内海和子, 須藤信吉, 飯田 進
	監 事 1名 倉持 功
境町土地開発公社	理 事 3名 齊藤政雄, 橋本正裕, 濱野 健司
	監 事 1名 渡邊 昇
境町行政改革推進協議会委員 5名	田山文雄, 倉持 功, 渡邊 昇, 飯田 進, 濱野 健司
境町男女共同参画推進委員 1名	内海和子
境町社会福祉協議会	理 事 2名 関 稔, 須藤信吉
	評議員 2名 渡邊 昇, 青木 徹

平成25年第2回定例会に提出された  
議案の内容と審議結果

条例の改正

○境町職員の給与の特例に関する条  
例の制定

〔原案可決〕

平成25年1月28日付での国家公務  
員の給与減額に準じた措置を講ずる  
よう総務大臣からの要請により、特  
例条例を制定し給与減額を来年3月  
まで行うものです。

補正予算

○平成25年度境町一般会計補正予算  
(第2号)

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額から、歳入歳  
出それぞれ639万1千円を減額し  
歳入歳出予算の総額を歳入歳出それ  
ぞれ76億6千912万9千円とする  
ものです。

○平成25年度境町国民健康保険事業  
特別会計補正予算(第1号)

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額から、歳入歳  
出それぞれ666万9千円を減額し  
歳入歳出予算の総額を歳入歳出それ  
ぞれ総額32億4千633万1千円と  
するものです。

○平成25年度境町後期高齢者医療事  
業特別会計補正予算(第1号)

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出  
それぞれ8万9千円を追加し、歳入  
歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ  
3億9千978万9千円とするもの  
です。

○平成25年度境町介護保険事業特別  
会計補正予算(第1号)

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額から、歳入歳  
出それぞれ167万8千円を減額し  
歳入歳出予算の総額を歳入歳出それ  
ぞれ16億4千532万2千円とする  
ものです。

○平成25年度境町公共下水道事業特  
別会計補正予算(第1号)

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出  
それぞれ1千460万4千円を追加  
し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出  
それぞれ8億3千160万4千円と  
するものです。

○平成25年度境町農業集落排水事業  
特別会計補正予算(第1号)

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額から歳入歳出  
それぞれ561万7千円を減額し、  
歳入歳出予算の総額を歳入歳出それ  
ぞれ2億4千138万3千円とする  
ものです。

人事案件

○境町監査委員の選任同意

〔即日原案同意〕

境町大字伏木2755番地  
木村 信一  
昭和32年2月15日生

請願・陳情審査結果

○国益に反するTPPに参加しない  
ことを求める陳情

〔採択〕

陳情者  
茨城県猿島郡境町大字長井戸23  
番地  
茨城むつみ農業協同組合  
代表理事組合長 青柳 初男

○場外車券売り場の設置に関する陳  
情書

〔継続審査〕

陳情者  
茨城県猿島郡境町大字下砂井6  
04番地  
代表 石川 昌利ほか2名

意見書の提出

政府関係機関へ次の意見書を提  
出しました。

○国益に反するTPPに参加しない  
ことを求める意見書

国益に反するTPPに参加しな  
いこと。  
提出先 内閣総理大臣ほか7名

○国益に反するTPPに参加しない  
ことを求める意見書

平成25年7月19日に圏央道境イン  
ターチェンジ(仮称)を新たなまち  
づくりの媒体として、その周辺開発  
の調査・研究をすることを目的に設  
置した。委員は、議長を除く13名議  
員で構成され、委員長に須藤信吉、  
副委員長に飯田進を選出しました。

一般質問

議席10番 田山 文雄 議員



○高齢者対策について  
Q.高齢者用肺炎球菌ワクチンの助成  
についての当町の考えを伺いたい。  
A.高齢者の疾病予防の観点から、医  
療費の抑制につながる一つの方策で

あり、今後、国及び県、県内各自治  
体の動向を踏まえ、限られた財源の  
中で検討したい。

Q.公園等に高齢者向けの運動器具を  
設置して、健康増進に繋がるよう  
取り組みも必要であると思うが、当  
町の考えを伺いたい。  
A.全国的に高齢化社会を反映し、健  
康づくりの観点から公園等に設置す  
る自治体が増えている。運動器具の  
設置については、その活用を図って  
いく必要がある。今後、財源の確保  
等を踏まえた上で、関係各課と十分  
協議をしていきたい。

○がん対策について  
Q.昨年の9月第3回定例会において  
も質問をしたが、ピロリ菌ABCリ  
スク検査導入や助成する事によって  
がんの減少に繋がると思うが当町の  
考えを伺いたい。  
A.ピロリ菌ABCリスク検査につい  
ては、現在、茨城県内で3つの自治  
体で実施している。昨年度、国が設  
置した「がん検診のあり方に関する  
検討会」において胃がん検診へのピ  
ロリ菌検査の導入についても検討さ  
れることとなっていることから、今  
後も国の動向を見守っていきたい。  
公費助成に関しては、限られた財源  
の中、今後、検討していきたい。  
〔民生部長〕

○国際交流について  
Q.例年行われている長田小学校のア  
ルゼンチンの日を町全体の行事とし  
て、国際交流の道を開いたらどうか。  
A.先日のアルゼンチンの日は、国際  
交流の道を開いたイベントといえる。  
交流の在り方を関係機関と共に検討  
していきたい。  
〔教育長〕

○国際交流の時代にふさわしく、異文  
化交流の場として、生徒の派遣など  
姉妹都市提携の考えはないか。  
A.長田小学校では過去2回親子で児  
童を派遣しており、国際化における  
姉妹都市提携については、町の施策  
と共に充実をはかるために今後  
検討していく。  
〔副町長〕

○生涯学習について  
Q.先ごろ行われたコースの記念イ  
ベントでは大勢の観客が集まった。  
やり方次第で文化的な試みも歓迎さ  
れると思う。新たな生涯学習の在り  
方を考える時期ではないか。  
A.第5次境町総合計画にある通り、  
講師の公募制や教室内容の充実等で  
自主的な運営に努めていく。  
〔教育長〕

議席12番 内海 和子 議員



○選挙関係について  
Q.選挙時のポスター掲示設置箇所な  
どの見直しはしたのか。  
A.16箇所の変更と見直しをした。番号  
も付けるようにする。  
〔選挙管理委員会書記長〕

○国際交流について  
Q.例年行われている長田小学校のア  
ルゼンチンの日を町全体の行事とし  
て、国際交流の道を開いたらどうか。  
A.先日のアルゼンチンの日は、国際  
交流の道を開いたイベントといえる。  
交流の在り方を関係機関と共に検討  
していきたい。  
〔教育長〕

〔民生部長〕

議席6番 渡邊 昇 議員



○子宮頸がんワクチン接種について  
Q.厚生労働省が勧奨中止になったが当町の取り扱いについて。

A.集団接種を予定対象者とその保護者に対し、各学校を通じて厚生労働省発行のチラシを配布することによってワクチン接種の有効性と副反応が起るリスクを十分理解した上で、接種を希望する人は、医療機関において個別に、従来どおり無料にて受けるよう、積極的な勧奨を差し控えること。また、今回の措置と並行して集団接種以外の個別接種者に対しては郵送によって同様な措置を講じたところである。

Q.中学生対象の定期接種の対応について。

A.町は、集団接種を維持するか、あるいは個別接種とするかは、国の動向を見極めるとともに、医師会などの指導を仰ぎながら、慎重に検討していく。

○認知症のその後の町の取り組みについて

Q.認知症サポーター要請講座の開催について。

A.要請講座を開催しているが、具体的に講座の開催を通して、みんなを守ることができる社会の実現に向けて取り組んでいきたい。

Q.認知症の人にもやさしいお店登録事業について。

A.境町商工会にも認知症サポーター要請講座の開催を働きかけ、地域全体で認知症の高齢者を見守っていく

体制を確立する必要があることから併せてお店や金融機関、事業所などを登録する制度の構築を早急に検討していく。

議席3番 櫻井 実 議員



○防災対策について  
Q.洪水ハザードマップの改訂を検討しているが、進捗状況は。

A.ハザードマップ改訂のため現在作業を進めている。浸水の深さから想定し、利用できる建物階層から見直しを行い、小中高校の9箇所のほか新たに、文化村公民館、町民体育館、勤労青少年ホームの3箇所を加え、避難場所と指定する予定で合計4千800人の収容が可能である。備蓄については、飲料水、布団、毛布、非常食等を備蓄してあり逐次補充する。ほかにも、各小学校の校庭に飲料水兼用型貯水槽を設置している。今後「災害時相互応援協定」を締結した近隣の八市六町二村と食料資機材の提供、被災者の救出、救護活動被災者の受け入れ体制等具体的な検討を進める。

○横塚地区宮戸川橋梁の改修工事について

Q.横塚地区宮戸川橋梁は、道路の幅員に対し、狭い橋のため交互通行で通過している。また、老朽化が進んでいるが改修の予定は。

A.橋梁の点検をしたところ、一部にコンクリート剥離が認められるところから、当面、安全性を考慮して路肩制限と重量制限対策をしている。現在、道路改良と合わせた橋梁の改

修工事に向けて国や県と事業化について協議検討している。

「産業建設部長」



横塚地区宮戸川橋梁

議席2番 青木 徹 議員



○教育関連と町づくりについて  
Q.いじめ防止対策法成立を受けてその検証と課題について。

A.いじめに対する基本的な施策と、国や自治体、学校及び保護者の責務が定められたので、学校側が子供たち一人一人と、しっかりと向き合うことができるよう各学校に指導する。

Q.中一ギャップ解消に向けた町の取り組みは「小中一貫校など」。

A.小中連携を取り組みの基礎に、生徒指導連絡協議会や家庭教育学級を通じて対策を図っている。境町では英語教育に早くから取り組んでいるので、中学校での授業の効果がみられる。小中一貫校は、つくば市全域で開始されたこともあり、広がりがあると考えられるので、取り組みが可能などうか検討していきたい。

「教育長」

Q.通学路の安全確保について。

A.特に危険な箇所の20箇所のうち10箇所は対応済みで、3箇所は今年度中に対応する。内訳は、森戸小に向かう町道の歩道設置、実台寺周辺及び一中周辺のカラー舗装を予定している。

「教育長」

そのほか、農業関連の質問をした。

平成25年第2回境町議会臨時会 審議結果

○専決処分の承認を求めることについて(平成24年度境町一般会計補正予算[第9号])

【即日原案承認】  
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ116万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ90億8千477万3千円とするものです。3名の方から寄付行為があつたため。

○専決処分の承認を求めることについて(境町税条例の一部改正)

【即日原案承認】  
個人住民税の住宅借入金等特別税額控除等の延長・拡充並びに東日本大震災に係る津波により被害を受けた土地、家屋に係る固定資産税の課税免除等の措置の延長等の復興支援税制の改正、延滞金等の見直しをした地方税法の一部改正が4月1日に施行されたため。  
○専決処分の承認を求めることについて(境町国民健康保険条例の一部改正)

【即日原案承認】  
国民健康保険税の特定継続世帯に対する平等割額の改正が4月1日に施行され境町国民健康保険条例の一部を改正するもの。

平成25年第3回境町議会臨時会 審議結果

○専決処分の承認を求めることについて(平成25年度境町一般会計補正予算[第1号])

【即日原案承認】  
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ252万円を追加し、歳入歳出予算の総額を76億7千552万円とするものです。

第3回定例会のお知らせ

平成25年第3回境町議会定例会は、平成24年度の決算が審議される議会です。日程は、下記のとおりです。

9月 11日 (水)	本会議 (開会、提出議案上程・説明)
9月 12日 (木)	本会議 (一般質問)
9月 13日 (金)	本会議 (一般質問)
9月 17日 (火)	決算特別委員会
9月 18日 (水)	決算特別委員会
9月 19日 (木)	常任委員会
9月 20日 (金)	本会議 (採決、閉会)

◎広報編集委員会

- 委員長 濱野 健司
- 副委員長 青木 徹
- 委員 飯田 進
- 委員 櫻井 実
- 委員 青木 輝明